

8. ケーブルの端末処理の注意事項

No.	項目	注意事項	例示																				
1	水、油環境下での配線の端末処理方法	防水・防油性のあるコネクタを選定し、端末からケーブル内に水、油が浸入しないように正しく加工してください。	<p>○ コネクタ 油</p> <p>× コネクタ 油</p>																				
2	配線しない線心の端末処理方法	配線しない線心は接地処理をすることを推奨します。未処理にしておきますと、ノイズを拾う恐れがあります。	<p>コネクタ</p> <table border="1"> <tr><th>NO.</th><th>絶縁色</th></tr> <tr><td>1</td><td>黒</td></tr> <tr><td>2</td><td>黒/白</td></tr> <tr><td>3</td><td>赤</td></tr> <tr><td>4</td><td>赤/白</td></tr> </table> <p>コネクタ</p> <table border="1"> <tr><th>NO.</th><th>絶縁色</th></tr> <tr><td>1</td><td>黒</td></tr> <tr><td>2</td><td>黒/白</td></tr> <tr><td>3</td><td>赤</td></tr> <tr><td>4</td><td>赤/白</td></tr> </table>	NO.	絶縁色	1	黒	2	黒/白	3	赤	4	赤/白	NO.	絶縁色	1	黒	2	黒/白	3	赤	4	赤/白
NO.	絶縁色																						
1	黒																						
2	黒/白																						
3	赤																						
4	赤/白																						
NO.	絶縁色																						
1	黒																						
2	黒/白																						
3	赤																						
4	赤/白																						
3	編組導体・中心補強紐入り導体の端末処理 切断方法	鋭利なハサミで瞬時に切断してください。(補強紐は、ニッパーなどでは完全に切断できません。)																					
4	編組導体・中心補強紐入り導体の端末処理 圧着端子加工方法	補強紐を取り除かないでそのまま圧着端子で止めてください。																					
5	編組導体・中心補強紐入り導体の端末処理 半田付け方法	補強紐を取り除かないでそのまま半田付けしてください。(補強紐は熱に強いので、溶融・収縮しません。)																					